

1990年(平成2年)5月22日 火曜日

四半世紀・活動の歴史

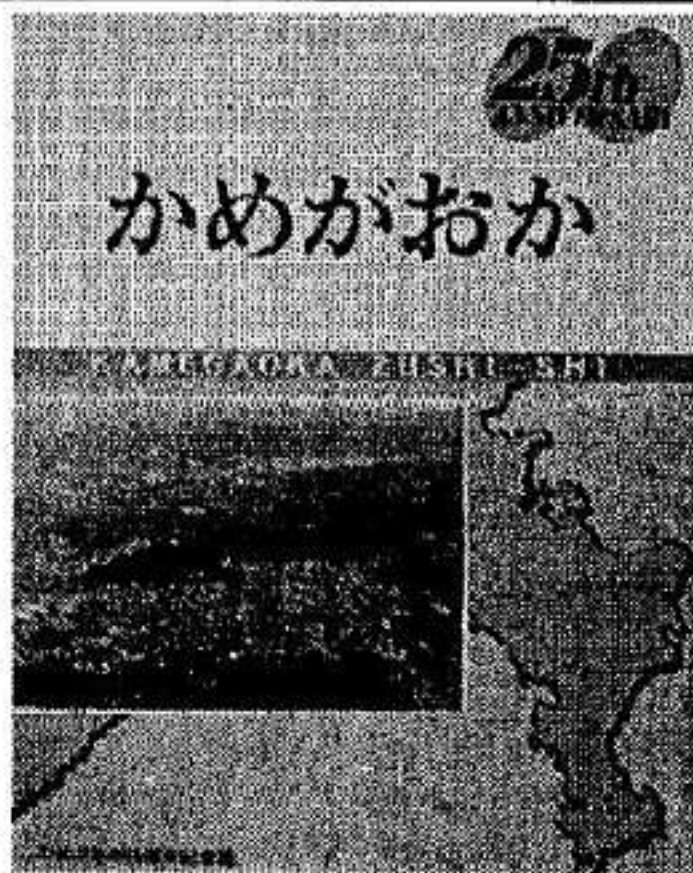
「かめがおか」発刊

自治会
記念誌 多彩な内容 座談会も

逗 子

逗子市小坪二丁目の「亀が岡自治会」(飯田宗夫会長)が創立二十五周年を迎え、記念誌「かめがおか」(変形B5判、七十六頁)を発行した。四半世紀を節目に初めて作られたが、同自治会では「亀が岡で生まれ育った子供たちが、ふるさとの歴史を知る参考になり、住民同士の交流の幅が広がるきっかけにしたい」としている。

「亀が岡」は逗子市の北西部に位置し、鎌倉との市境に接している。東京労働者信販生活協同組合(労信販)が昭和三十八年に宅地造成を始め、同四十年に完成した。造成面積約十五万平方メートルで、当時としては市内最大の宅地開発だった。



現在、六百三十世帯、約三千人が暮らしている。

二十五代目の前自治会長・佐藤義男さん(七六)の呼び掛けで昨年四月、編集委員会が発足。亀が岡の現在、過去、未来を話し合う座談会を開いたり、自治会活動の歩み、歴史などを丹念に調べて作ったのが記念誌。

完成した記念誌「かめがおか」

古い写真などもふんだんに使っている。

佐藤さんは「各家庭が長く本棚に置けるものができる。子供たちが生まれた町の歴史を知る参考にもしてほしい」と話している。